

領域 6 合同インフォーマルミーティング議事録

日本物理学会 2026 年春季大会

2026 年 3 月 25 日(水) 18:00-19:00 オンライン

参加者：24 名

司会：鈴木（領域運営委員）

記録者：中島（領域運営委員）

議題

1. 領域代表・副代表について（確認事項）
2. 領域運営委員について（承認事項）
3. 学生優秀発表賞、第 20 回若手奨励賞、論文賞・米沢文子記念賞報告
4. 領域委員会報告
5. 一般講演発表件数、概要集提出率
6. 学生優秀発表賞の実施要項の修正について
7. 液体金属分野の分野名変更について（承認事項）
8. 国際学会等のお知らせ

1. 領域代表・副代表について（確認事項）

前回の年次大会 IM で承認された次期領域代表・副代表の確認がされた。

- 次期領域代表（2026 年 4 月 ～ 2027 年 3 月）
野島 勉（超伝導・密度波分野，東北大金研）
- 次期領域副代表（2026 年 4 月 ～ 2027 年 3 月）
田村 隆治（準結晶，東理大先進工）

2. 領域運営委員について（承認事項）

次期以降の領域運営委員についての確認がなされた。

- 任期継続の現運営領域運営委員（2025/10～2026/9）
中島 陽一（液体金属，熊大院先端），竹内 宏光（超低温，阪公大院理）
- 次期領域運営委員（2026/4～2027/3）前回の年次大会 IM で承認
小森 祥央（超伝導・密度波，阪公大）、那波 和宏（準結晶，東北大）

次次期領域運営委員候補（2026/10～2027/9）について以下の通り提案があり、承認された。

平山 尚美（液体金属分野、島根大）、谷 智行（超低温分野、北大院工）

3. 学生優秀発表賞、論文賞、米沢富美子記念賞報告

(1) 学生優秀発表賞（領域 6）

第 80 回年次大会(2025 年 9 月、広島大学)における学生優秀発表賞の受賞者 5 名が、以下の通り報告された。

分野	受賞者	所属	講演題目
液体金属	杉本 亘	熊大院自然	第一原理分子動力学法に基づく液体リンゴ酸の局所構造の光学異性体依存性
準結晶	松平 広康	京大院理	ファンデルワールス層状準結晶超伝導体 (Ta _{0.95} Cu _{0.05}) _{1.6} Te の ¹²⁵ Te-NMR 測定
超低温	隈下 敦貴	兵庫県立大院理	純良グラファイト上ヘリウム 3 単原子膜の整合不整合相転移領域の相図
超伝導・密度波	坂元 玲王	東北大金研	遷移金属ダイカルコゲナイト剥離単結晶膜における磁束フローダイナミクスの厚さ依存性
超伝導・密度波	森田 智也	科学大	ジョセフソン接合の位相差による常伝導体-超伝導体接合の電子輸送特性の変調

(2) 第 20 回若手奨励賞(領域 6)

第 20 回若手奨励賞の受賞 2 名が以下の通り報告された。

受賞者	所属	対象研究
深谷 優梨	岡山大学	トポロジカル超伝導および非従来型磁性体・超伝導体接合に関する理論的研究
Farid Labib	東京理科大学	準結晶および近似結晶における磁性に関する実験研究

(3) 論文賞・米沢富美子記念賞

第 31 回論文賞、第 7 回米沢富美子記念賞について、領域 6 からの推薦は無かったことが報告された。

4. 領域委員会報告

領域委員会での招待講演企画提案を含めた以下の件について代表より報告があった。

(1) 2026 年春季大会における招待講演企画提案の採択

物性領域プログラム小委員会で審議決定された以下の採否が報告された。

- 招待講演: 5 件採択、0 件不採択
- チュートリアル講演: 3 件採択、0 件不採択
- シンポジウム(一般): 6 件採択、0 件不採択
- シンポジウム(共催): 1 件採択、0 件不採択
- 若手奨励賞記念講演: 13 件採択、0 件不採択
- AAPPS-JPS Award 受賞記念講演: 1 件採択、0 件不採択

(2) 領域 6 関連の招待講演企画提案の採択件数

主領域

- 招待講演 1 件：領域 6, 領域 7, 領域 8
- シンポジウム(一般) 1 件: 領域 6, 領域 1, 領域 11

合同

- シンポジウム(一般) 2 件:
領域 4, 領域 1, 領域 3, 領域 5, 領域 6, 領域 8, 領域 11
領域 7, 領域 3, 領域 4, 領域 5, 領域 6, 領域 8
- シンポジウム(共催) 1 件: 領域 8, 領域 6, 領域 7

5. 一般講演発表件数、概要集提出率について

- 一般講演の発表件数の推移および講演概要提出率について報告があった。
- 2025 年春季大会に引き続き、2026 年春季大会でもオンライン大会では発表件数の減少が目立った。引き続き発表への呼びかけが行われることが確認された。
- 講演概要提出率については、領域 6 で 98.6%と高水準であることが報告された。

6. 学生優秀発表賞の実施要項の修正について(承認事項)

- 2025 年秋季大会インフォーマルミーティングで作成された改定案について、領域 HP で掲示され、特に反対意見がなかったことが報告された。
- 採決を行い、参加者全員の賛成により改定案は承認された。
- 改定後の実施要項の施行は、次々回学会からとすることが確認された。

7. 液体金属分野の分野名変更について(承認事項)

- 領域代表より、分野名変更の背景および「液体・非晶質金属」への変更案の説明があり、液体金属分野内で了承が得られていることが報告された。他分野への意見徴収も行われ、異論は出なかったことが報告された。
- 参加者による採決の結果、分野名は「液体金属」から「液体・非晶質金属」に変更することが承認された。
- 今後、事務局に連絡し変更手続きを進めることが確認された。

8. 領域委員会報告(続き)：

(1) 領域再編について

- 領域代表より、委員会での領域再編に関する議論の報告があった。再編自体に否定的意見は現時点ではなく、再編方法として分科をすべて振り分ける方法、キーワードや講演情報を活用したグルーピングなどの意見が出ていることが報告された。

- プログラム編成・分科運営においては、領域間をまたぐ人材活用の有用性や、講演者の発表・聴講領域のデータ化の提案も報告された。
- 今後の領域再編へ向けたプロセスに関する質問が出された。代表より、現時点で学会からの具体的な意見集約依頼はないが、今後も再編に向けた議論は継続される、意見があれば随時領域代表にあげて欲しい旨の回答があった。

(2) オンライン開催時のポスターセッションについて

- 今大会からショートプレゼンテーション形式が導入されたことが報告された。
- 学会としては、今後も改良を重ねていく方針であることが確認された。
- 今大会実施後の意見があれば、領域運営委員に申し出るよう周知された。

9. 国際会議等のお知らせ

The International Symposium on Quantum Fluids and Solids (QFS2026, 量子流体・固体国際会議) (2026/8/2-8/8、アメリカ) の紹介があった。